

2020年農林業センサスにおける農業経営体の概念図

(数字は東海3県計。単位：経営体)

農林業センサスでは、長年、世帯ぐるみで農業を行う「農家」を単位として調査を行ってきました。しかし、近年、会社や農事組合法人などの組織経営が増加し、「農家」では農業構造全体の把握が困難となってきました。

そこで、2005年農林業センサスから、世帯による農業経営(家族経営体)と会社や農事組合法人などの組織経営(組織経営体)を把握する「農業経営体」という概念を導入しました。

2020年調査では、法人経営を一体的に捉えるとの考えのもと、法人化している家族経営体と組織経営体を統合し、非法人の組織経営体と併せて団体経営体とし、非法人の家族経営体を個人経営体としました。

